

早稲田大学 図書館紀要

第 67 号



仏を造つたら、魂を入れよう

図書館長 深澤良彰

図書館における研究・教育を支援する「場」として、ラーニング・コモنزの整備を行ってきた。所沢図書館に続いて、昨年度と今年度、中央図書館におけるラーニング・コモنز整備を行い、さらに今年度は理工学図書館におけるラーニング・コモنز整備を行った。

ここで提供されている什器などは、図書館職員が、図書館におけるラーニング・コモنزはいかにあるべきかについて、慎重な考察を行った結果であると確信している。しかし、現時点で整備が終わったことの多くは、そのハードウェア的な整備である。

具体的には、先行した所沢図書館において、レポートや論文作成の相談が受けられるライティング・センター機能、「数学基礎プラス」のデスク機能、キャリア・センターの窓口機能、学習相談に応じるL.A(ラーニング・アシスタント)機能などがサービスとして提供されている。しかし、中央図書館、理工学図書館では、L.A機能を除いて、ラーニング・コモنزの利用者に対する新しいサービスについては、現時点では提供されていない。今後とも、図書館としてのサービス機能について、利用者の意見も採り入れながら、図書館として整備していくことが重要である。このサービス機能こそが、研究・教育を支援する「魂」であると確信している。

2020 年 3 月